

でしたが、体罰の根絶や体罰を許さない環境づくりに一層努めてまいります。

米軍戦闘機低空飛行中止の申し入れを

藤元議員

私の調査では、飛行日数は今年に入つてから51日、飛行数は135機で増える一方です。そして、15回の夜間飛行もありました。町民のみなさんから、「びっくりして寝られなくなる」「朝が早いのに起こされてしまう」などの声が寄せられています。

写真や音量などの客観的事実を突きつけ、政府や米軍に中止の申し入れをすべきではないか。

福井町長

昨年12月から米軍機の低空飛行が頻繁に行われるようになっており、騒音測定器の設置に向けて、県との協議を行っています。

福井町長

避難路、避難場所の整備が進んでいますが、現在の整備状況はどうなっているのでしょうか。また、南海トラフ巨大地震が発生すれば、建物の崩壊、浸水など大きな被害が予想されます。万が一に備えて帰宅困難者のための避難所及び備蓄食糧、倉庫などの準備状況は。

栗林総務課長

平成23年度から高さ20m程度の一時避難所からより高い場所へ避難できる里山に避難路を整備していますが、まだ完全な状況には至

福井町長

平成23年度、24年度の2か年に、県単独事業で今までの津波避難場所から、さらなる山の高台へ向けた避

栗林総務課長

職員の確認した分だけですが、現在までの7カ月で63件の飛行を確認しています。そして、夜間飛行については、4月に6件、5月に9件確認しています。

津波対策について

森 定雄 議員

県が騒音測定器の設置について検討するということであれば、本町も積極的に進めたいと思っています。中止要請については、これらの経過を見ながら協議したいと思います。

今年度1箇所の備蓄倉庫の整備を入れますと、全部で7箇所の備蓄倉庫を設置したことになります。

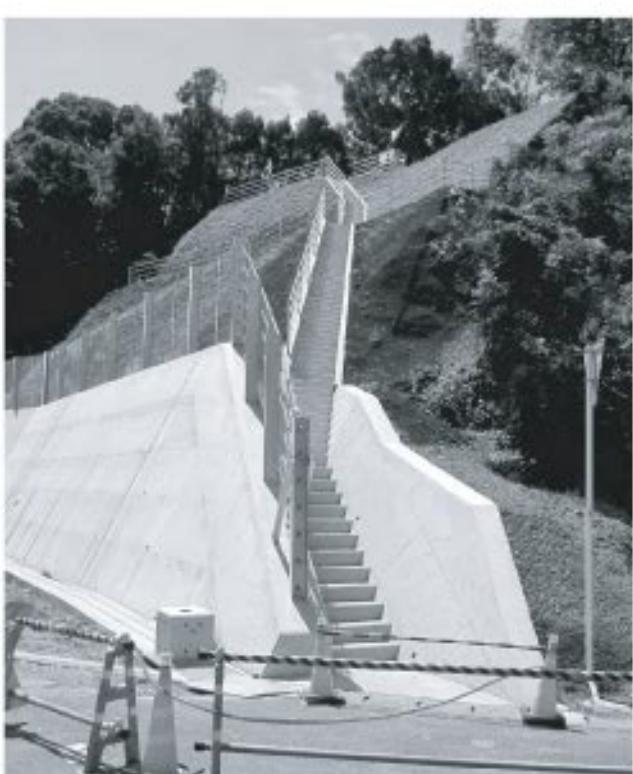
最近、異常気象で集中豪雨、ゲリラ豪雨が発生し、土手が崩壊し、崖崩れ、土石流も発生し、町内では床下、床上572世帯が浸水被害に遭いました。集中豪雨に対する防災、避難体制は、牟岐町でも昭和51年の集中豪雨では橋が流れ、土手が崩壊し、崖崩れ、土石流も発生し、町内では床下、床上572世帯が浸水被害に遭いました。集中豪雨に対する防災、避難体制は、

土砂災害及び集中豪雨対策について

森議員

土砂災害から住民の命を

現在、6地区に備蓄倉庫を整備し、簡易トイレや毛布も備蓄しています。平成25年度には食料など備蓄品の充実を図る計画です。防災拠点として、東部は市宇ヶ丘学園、西部は建設予定の海部病院、防災公園を想定しています。



県道日和佐牟岐線自歩道工事